

特定非営利法人総合型地域スポーツクラブ 法政クラブの設立：法政大学体育・スポーツ 研究センターのスポーツ公開講座を背景と して

Karube, Shunji / 苅部, 俊二

(出版者 / Publisher)

法政大学体育・スポーツ研究センター

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学体育・スポーツ研究センター紀要 / 法政大学体育・スポーツ研究セン
ター紀要

(巻 / Volume)

30

(開始ページ / Start Page)

9

(終了ページ / End Page)

17

(発行年 / Year)

2012-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00007801>

特定非営利法人総合型地域スポーツクラブ 法政クラブの設立 ー法政大学体育・スポーツ研究センターのスポーツ公開講座を背景としてー

Research on Establishing a Comprehensive Community Sports Club in Non-Profit Organization Hosei Club

苅 部 俊 二 (法政大学)
Shunji Karube

I. はじめに

「スポーツは、世界共通の人類の文化である」。これは、2011年（平成23年）6月24日に公布され、8月24日に施行された「スポーツ基本法」の前文の文頭である。「スポーツ基本法」は、1961年（昭和36年）6月に東京オリンピックに向けて制定された「スポーツ振興法」から50年ぶりに全面改正に至ったスポーツ関する施策に対する法律である。この「スポーツ基本法」の施行によって、スポーツ振興は国家戦略として位置づけられることとなった。

この「スポーツ基本法」制定の10年前となる2000年（平成20年）9月、文部科学省は「スポーツ振興法」に基づき保健体育審議会の中間答申、本答申を経て「スポーツ振興基本計画」を策定している。この「スポーツ振興基本計画」では、「子どもの体力向上」、「国際競技力の総合的な向上」などの方策が策定されている。その方策の一つに「地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」がある。この方策は、生涯スポーツ社会実現のために、成人の50%の人が週1回以上スポーツに参加することを目標とし、そのために必要な施策として、2010年までに、全国の各市町村において少なくとも1つの総合型スポーツクラブを育成することを掲げている。総合型地域スポーツクラブとは、1995年（平成9年）に文部省が開始したスポーツ振興施策の一つで、「総合型スポーツクラブ育成モデル事業」によって進められてきた。文部科学省（2011）の発表した報告では、平成23年7月の時点で、全国には2,851の総合型地域スポーツクラブが創設されており、平成14年の542から10年間で約6倍に増えている。創設予定のクラブを含めるとその数は3,241となる。しかし、2010年度までに全国の市町村にという目標であったが、1,747市町村中1,117市町村（75.4%）の創設に留まり目標は達成していない。

総合型地域スポーツクラブの設立の経緯はさまざまである。「地域のスポーツ少年団」、「学校」、「サークル」、「自治会」、「体育協会」や「レクリエーション協会」、スポーツ推進員（旧体育指導委員）などの「スポーツ関係団体」、「地域にあるプロチームや企業のトップチーム」などを主な母体とする団体が多い。教育機関では、放課後の空き時間を有効活用し

たり、廃校となった小学校などを活用したりした総合型地域スポーツクラブも多く、大学においてもいくつかの大学で総合型地域スポーツクラブの設立が見られる。

大学は教育・研究活動とともに社会貢献活動や地域貢献活動を大きな社会的使命としている。大学開放や市民に向けた講座の開講、教員・学生の派遣、ボランティア参加など、多くの大学がこうした取り組みを実施している。こうした中、文部科学省の「スポーツ振興基本計画」を鑑み、スポーツでの貢献も盛んにおこなわれるようになった。大学の持つ施設や人材といった資源を利用した総合型地域スポーツクラブを設立する大学がいくつか存在する。主なところで、私学では早稲田大学（WASADA CLUB）、慶應義塾大学（善行大越スポーツクラブ）、同志社大学（京たなべ・同志社スポーツクラブ）など、国立でも福島大学（福島大学スポーツユニオン）、筑波大学（つくばユナイテッド）、愛媛大学（愛媛大学総合型地域スポーツクラブ）などがある。

法政大学では、1984年より地域貢献として、法政大学体育・スポーツ研究センター（以下、体育・スポーツ研究センターとする）が、毎年スポーツ公開講座や講演会、講習会を実施し、近隣地域住民の認知度は高い。体育・スポーツ研究センター以外にも、2000年12月にダンススクールの開講が始まり、2003年からは毎年ダンスフェスティバルを開催している。2007年4月には主に文化的活動を中心に開講しているエクステンションカレッジで、陸上競技教室を開講した。こうして法政大学では、さまざまな形で地域のスポーツ活動に貢献してきた。これらのスポーツ活動を統合し2010年4月に「特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブ 法政クラブ（以下、法政クラブとする）」が大学内に設立された。

東京都内の大学では初めてとなる大学による総合型地域スポーツクラブであり、特定非営利活動法人（以下、NPO法人とする）格を取得し、大学内に事務局を有する総合型地域スポーツクラブは私の知る限り存在しない。

馬場ら（2008）は、大学を核とした総合型地域スポーツクラブの課題・問題点として、①大学組織がクラブにどのような位置づけで関わるのか、②財源の確保、③施設をどの程度活用できるのか、④教員・職員・学生の関わり、またその立場、⑤地域住民はどのように関わるか、⑥既存団体との軋

轢、⑦行政機関との良好な役割分担、⑧誰のためのクラブかの8つを指摘している。また、池田（2010）も、大学を拠点として運営する総合型地域スポーツクラブの問題点について、実際に運営している事例、報告から、「財源」、「大学組織の関わり方」、「教員・学生の負担」、「行政との協力関係」に集約されるとしている。

そこで本研究は、法政大学におけるスポーツ講座、教室、講演を歴史的背景に2010年4月に創設された法政クラブの設立経緯を報告し、大学を拠点とする総合型地域スポーツクラブとしての課題、問題点について検討し法政クラブの進むべき方向性について考察していくことを目的とする。

Ⅱ. 体育・スポーツ研究センターによるスポーツ貢献

1) 体育・スポーツ研究センターの概要

体育・スポーツ研究センターは、1976年（昭和51年）4月本学体育専任教員が体育・スポーツ・健康に関する調査、研究を行い、合わせて本学のスポーツ振興に寄与することを目的として、「体育研究センター」という名称で設立された。2002年（平成14年）には体育・スポーツ研究センターと名称変更した。この体育・スポーツ研究センターでは、公開講座や講演会活動を、体育・スポーツ研究センター所員のスポーツ専門分野の研究成果、あるいは専門的技能を学内外に発表する場と位置付けるとともに、所員の研究の成果を社会的に還元する機会としている。また、体育・スポーツ研究センターでは、「生涯スポーツ」、「高齢化社会」、「少子化」、「医療費負担問題」などのニーズに答えるためにも、充実した内容で公開講座や講習会を開催すべく（内部資料：2010）、年間計画に位置付け、定期的に開催している。体育・スポーツ研究センターは規定に基づき、次の事業を行っている。①スポーツ教育、スポーツ科学の調査・研究 ②課外体育の円滑な運営 ③本学学生及び教職員のスポーツ活動、健康維持増進のための指導助言 ④正課体育の運営に伴う調整 ⑤生涯スポーツの調査・研究 ⑥公開講座などの実施 ⑦委託研究の受託 ⑧その他

2) 体育・スポーツ研究センターのスポーツ公開講座・講演（研修会）・イベント

体育・スポーツ研究センターの事業のひとつに「公開講座などの実施」が規定されている。この規定から、体育・スポーツ研究センターでは、単年度あるいは複数年度にわたって継続的に実行される公開講座や講習会を開催してきた。体育・スポーツ研究センターが開講してきた公開講座や講演、研修会（渡辺：1988、体育・スポーツ研究センター紀要：1998 - 2010）を表1にまとめた。記録に残っている最初の公開講座は1984年（昭和59年）11月の「ウエイトコントロール」と題した講習会である。和歌山医科大学の城所教授を招き市ヶ谷で開講した。1983年（昭和58年）には新潟県白馬村で「スキースクール」を開講している。1984年（昭和59

年）多摩キャンパスが竣工、経済学部と社会学部が市ヶ谷より町田市相原町に移転、本学の体育授業は大きな変換期を迎えることとなった。多摩キャンパスに移転した経済学部、社会学部は当然多摩キャンパスで体育授業を行うのだが、市ヶ谷に拠点を構える学部についても多摩キャンパスの体育施設を使い授業を展開することとなった。その後、2008年度から市ヶ谷に拠点を構える学部は市ヶ谷地区に体育授業を移している。多摩キャンパス移転は、正課体育には多くの問題を残したが、面積約80万平方メートルという広大な敷地を有し、多摩丘陵の起伏を利用した立体的なキャンパス設計がなされたことから、体育施設においても市ヶ谷とは比較にならない規模の充実したものとなった。よって、公開講座はこの施設を活用した屋外型のスポーツ講座が開始することとなる。体育研究センター紀要（渡辺：1988）に公開講座について最初の報告がある。この公開講座は、「公開講座硬式テニス教室」と題し、町田市教育委員会の協力のもと近隣住民を対象に開催している。この時、参加者のゲーム中の心拍数や生理的変化を計測しており、その報告も紀要に掲載された。1989年には公開講座は開催されなかったが、1990年から現在まで毎年欠かさず開催されている。「テニス教室は」2011年で第15回を数える。「テニス教室」のほかに、公開講座としては、2002年から「陸上競技教室」、「バドミントン教室」、「サッカー教室」、さらに2003年から「バレーボール教室」、2004年から「少年野球教室」を開講した。2011年までに公開講座や研修会に参加した人数は延べ3,000人を超え、公開講座の近隣住民への認知度は高い。

Ⅲ. 体育・研究センター以外のスポーツ教室

多摩キャンパスでは、「地域への開放」や「地域との融合」を目的に、教職員や学生ともに、町田、相模原、城山、八王子ほか各市町との地域交流を盛んに行っている。また、豊かな社会文化の構築に寄与することを目的に、所有する知的資源や図書館、城山グラウンドなどの体育施設などのキャンパス内施設を広く一般に開放している。2005年には八王子市にスイミングプールを開放し、八王子市民水泳大会を開催した。この八王子市民水泳大会は、2011年で第7回目となり9月11日に第45回八王子市民水泳大会が開催された。この八王子市民水泳大会は、体育・スポーツ研究センターが地域交流の一環と同市の水泳競技普及発展の理念に賛同して協力している。

2000年12月には社会学部の教員が中心となって多摩キャンパス近隣住民、本学学生、教職員を対象としたダンススクールの開講が始まった。2003年からはダンスフェスティバルでその活動を披露している。本年は、11月23日に多摩環境委員会による「多摩環境展」のイベントとしてダンスフェスティバルを開催し、エコダンスを披露した。2004年には障がい者でも楽しめるダンスプロジェクトを企画（越部：2004）、性差、年齢差を含め多くの世代、おかれた環境

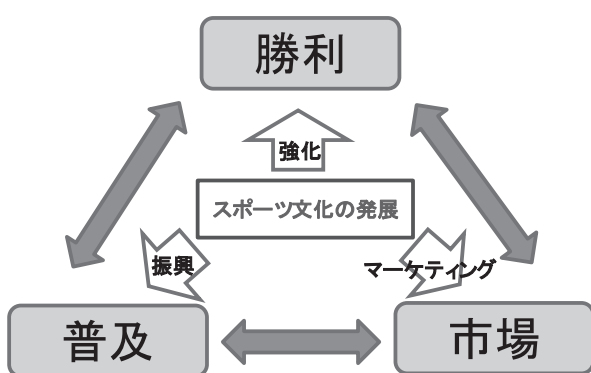
の異なる方でも参加できるスクールを展開してきた。

2007年4月からは、法政大学エクステンションカレッジで、アスリート倶楽部という陸上競技教室の開講が始まった。エクステンションカレッジは、2001年に開設され卒業生や学生、地域の方を対象に生涯学習や高度学習のニーズにこたえるため、資格や語学、キャリアアップ、書や文学を楽しむ講座などが開講されている。主には文化的活動の講座が中心であるが、その中に初めてスポーツ教室として陸上教室が開講された。

IV. 法政クラブの設立経緯

1) 「明日の法政を創る」審議会の掲げた方針

2008年（平成21年）に創立130周年に向け「明日の法政を創る」審議会が発足、そのなかに「法政スポーツ文化の発展」作業部会が星野 勉担当理事の下、法学部教授でサッカー部部長の寺尾方孝教授を座長とし、本学教員を中心とした有識者によって開会した。この作業部会によって法政スポーツの在り方について検討された。この作業部会は2010年3月の最終答申まで25回の会合を重ね現代社会におけるスポーツの意義から始まり、本学の体育会活動、体育施設、そしてスポーツによる地域貢献などまで、これからの法政大学スポーツのあるべき姿について検討した。この作業部会の最終答申は、2009年（平成21年）3月23日付で提出された。その「明日の法政を創る」審議会の掲げた方針は、スポーツ文化の発展に寄与することで（表2）、それは体育会強化による「勝利」、マーケティングによる「市場」、そしてスポーツ振興による「普及」であった（図1）。この「普及」に関し、「アスリートクラブの確立やスポーツ教室などの開講による開かれた大学としての地域社会貢献活動」を目標とした「スポーツクラブ」の設立が検討された。



勝利 (Victory)	普及 (Popularization)	市場 (Marketability)
・インカレなどの活躍 ・オリンピックなどの世界大会におけるグローバルな活躍	・アスリートクラブの確立やスポーツ教室などの開講による開かれた大学としての地域社会貢献活動	・各種メディアへの露出 ・WebサイトなどでのPR戦略 ・大学のイメージ形成・イメージアップ ・寄付金などの獲得

作業部会中間報告書をもとに苅部加筆修正

図1 「法政スポーツ文化の発展」作業部会による方針

表2 スポーツ文化発展のための法政大学の方針

スポーツ文化振興発展を通じた自立型人材の育成
次代のスポーツ文化の担い手育成
スポーツ文化の普及
ユニバーシティ・アイデンティティの形成

2) 法政クラブ設立の背景

「明日の法政を創る」審議会の答申を経て、本学のミッションである地域貢献をスポーツ振興で達成すべく、総合型地域スポーツクラブの設立が検討された。「スポーツ文化を通じた大学の地域社会への貢献」、「地域の課題解決」、「開かれた大学運営」、「社会性を身につけた学生の育成」を基本理念とし、今まで体育・スポーツ研究センターやボランティアセンター、エクステンションカレッジ、教員個人などで開催されてきたスポーツに関わる講座や教室などを統合し効率よく、より充実した組織とすべく設置準備に入った。設置準備委員会は2009年7月16日、体育・スポーツ研究センターのセンター所属教員、スポーツ健康学部教員、本学多摩総務部が中心となって第1回スポーツクラブ設立準備委員会を開催、同年12月1日には法政クラブ設立総会を開催した。その後、12月9日「法政クラブ」の設立が理事会で決裁され、12月17日東京都にNPO法人設立の認証申請を行った。翌年2010年3月17日には東京都からのNPO法人の認証を受け、2010年（平成22年）4月1日NPO法人法政クラブが設立、設立登記を行いNPO法人 法政クラブとしての活動が始まった（表3）。

表3 「特定非営利活動法人法政クラブ」の設立までの経緯

1997年（平成9年）	創立120周年に向けて「開かれた法政21」のビジョンを策定 「グローバル化への対応」、「社会との交流」、「生涯教育の推進」という三つのコンセプトを使命として掲げ、その中に地域社会との交流を図るとして、「法政多摩ダンススクール」や「法政大学総長杯多摩カップ」、体育・スポーツ研究センターの公開講座の事業が報告
2008年（平成21年）10月	創立130周年に向け「明日の法政を創る」審議会が発足 「法政スポーツ文化の発展」作業部会によって法政スポーツの在り方について検討される
2009年（平成21年）3月23日	「明日の法政を創る」審議会「スポーツ文化の発展」作業部会答申によりスポーツクラブの設立が検討される
7月16日	体育・スポーツ研究センターのセンター所属教員、スポーツ健康学部教員、本学総務部が中心となってスポーツクラブ設立準備委員会を開催
12月1日	法政クラブ設立総会を開催
12月9日	「特定非営利活動法人法政クラブ」の設立が理事会で決裁
12月17日	東京都にNPO法人設立の認証申請
2010年（平成22年）3月17日	東京都からのNPO法人の認証を受ける
4月1日	NPO法人法政クラブ設立、設立登記を行いNPO法人法政クラブとしての活動が始まる 大学による「法政大学スポーツ憲章」制定
10月17日	2010法政クラブアウルカップ ドッチビー大会
2011年（平成23年）10月16日	クラブハウスオープン 2011法政クラブアウルカップ バスケットボール大会

V. 「法政クラブ」設立理念

法政クラブは、「スポーツ・文化の活動を通じて、法政大学の研究・教育機能をより開き、地域・社会の課題解決に貢献する」と宣言し、以下の設立理念に基づきクラブ運営に努

めている。

1) 趣旨 スポーツ文化を通じた大学の地域社会への貢献

「法政クラブ」を設立し、法政大学多摩キャンパスを拠点に地域住民が気軽に複数のスポーツ・文化・健康増進・エコ活動を継続的に楽しめる場を創出することにより、幅広い年齢層の参加を促し地域社会のコミュニケーションの増大を図ることを目的とする。

地域におけるスポーツ活動については、これまで学校や各競技団体を通じて積極的に行われてきた。しかし、人々が気軽に「スポーツを楽しむ」という環境はまだ十分ではない。法政クラブはより多くの地域住民の参加の下で、スポーツを楽しむ環境を整備し、高い指導力により、競技力の向上だけでなく、健康維持や体力向上など幅広い課題に取り組むことを目指す。

法政大学の教職や学生の技術や経験を地域に還元することで、法政クラブのベースとなる多様目・多世代・多様性を備えた総合型地域スポーツクラブに発展させ、子ども達の「居場所づくり」や中高齢者の「介護予防事業」の充実など。広く地域の公益に寄与することを目的とする。

行政・企業・教育機関等との協働、および地域の諸団体との交流を積極的に展開する。

2) 意図

①地域の課題解決

21世紀の大学に求められているのは、「国際化」と並んで「地域貢献」と言われている。一方自治体は「住民の健康」と「健全な子どもの育成」を重要な課題としている。近年、この地域でも高齢化が激しい。一方で、少子化も進み、世代間の繋がりとはもとより、世代内の交流さえ危ぶまれている。ここで求められているのは、地域の新たなコミュニティである。

大学は、地域社会の発展に寄与できる人的・物的・文化的資源を豊富に有している。法政クラブの創設によって、行政、企業、市民と協力して、これら資源を余すことなく活用し、「スポーツと文化活動を存分に楽しめるコミュニティを！」をスローガンに、地域社会の課題解決に取り組む。

②開かれた大学運営を提案

法政大学は1984年の多摩キャンパス開設以来、地域に開かれた大学としてスポーツ・文化等の活動を展開してきた。四半世紀にわたって大学主導で行ってきたこれらの活動を、21世紀型の大学運営の新たな試みとして地域との協働で取り組むことを提案する。大学主催のスポーツ・文化事業を統合し、地域との協働で実施するものとする。また、多摩キャンパス及び周辺地域には貴重な自然・歴史・伝統芸能資源があり、これらを活用・維持・保存するための活動にも着手する。

③社会性を身につけた学生の育成

法政クラブの運営には、学生の参加を求め教育の場として

も位置づける。教職員や地域住民との交流により高い社会性を身につけ、卒業後には幅広い分野で活躍する人材を育成する。

VI. 法政クラブの組織

1) 組織・正会員

組織体制は理事長を本学総長とし、以下のように組織している（図2）。

理事長を1名（法政大学総長）

理事（教職員、地域、学識経験者）複数名

監事（教職員、地域、学識経験者）複数名

事務局長 1名

アシスタントマネージャー（専従） 2名（うち1名がクラブマネージャー取得中）

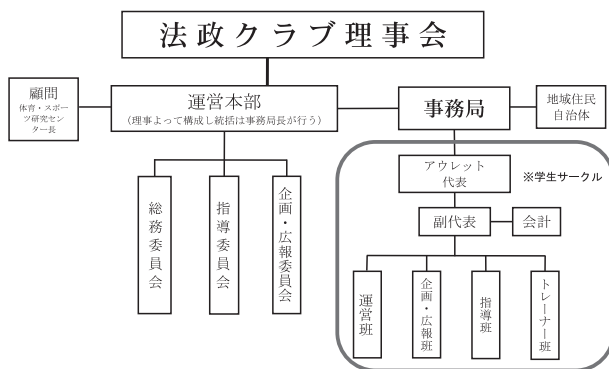


図2 法政クラブ 組織図

法政クラブ正会員は、理事長、理事など複数名である。

また、賛助会員を募集し、いくつかの地元企業に会員となってもらっている。教室への飲料サポート、ウェア類の支援もお願いし、企業との連携を図っている。

2) 委員会

委員会は総務委員会、指導者委員会、企画・広報委員会が組織され、教職員、学生、地域より委員を選出している。

また、法政クラブと大学との連携を円滑に進めるために、大学内に「法政クラブの事務担当」を配置している。

3) 指導体制

教室の指導者は、主に本学の教員や兼任講師が務めている。大学内には元オリンピック選手や日本代表経験者、代表コーチ経験者がおり、指導に当たっている。また実業団やプロスポーツの指導者や現役選手など大学OBや大学外部も指導者として迎え、本学体育会学生やスポーツ健康学部など学生もサポートだけでなく指導にも当たり指導者は充実している。

学生の参加は、スポーツ健康学部の授業の一環としても活用され、法政クラブでは、インターンシップの形式で学生を受け入れている。

4) 学生の関わり

法政クラブでは、2011年 8 月、学生の組織「法政クラブ アウレット」を設立した。「法政クラブ アウレット」は教室のサポートや企画、広報、指導などに携わっている。さらにスポーツ健康学部学生のアスレチックトレーナー（AT）の実習としてアウレットに所属し、スポーツ教室の傷害への対処、安全指導、コンディショニングを行っている。

5) シンボルマーク

法政クラブのシンボルマーク（図 3）は、フクロウ（アウル）をイメージし法政カラーであるオレンジと紺でデザインされている。認知度は低いだが、このフクロウは本学多摩キャンパスの象徴として扱われている。知恵や技芸、学問の神といわれ、縁起の良い鳥とされるこのフクロウのモニュメントがエッグドームとスポーツ健康学部棟に飾られている。年1度開催される「アウルカップ」はこのフクロウからネーミングされた。



図 3 法政クラブ シンボルマーク

Ⅶ. 開講講座・イベント

法政クラブが開設されてから現在までに開催されている講座・イベントを表 4 に示した。2010年は 5 つの教室と 2 回のイベントを体育・スポーツ研究センターと共催、2011年には教室を 3 つ増やし 8 教室、テニス教室とバドミントン教室は春秋の 2 期開催とした。イベントは 3 回行い、7 月 17 日に開催した「ウォーキング・エコノミー症候群のための体操講座」は、学生が企画し、学生のみで運営した。2011年 5 月からは城山校地に「法政大学 マウンテンバイクパーク」を整備し、マウンテンバイクの活動が始まった。マウンテンバイクは、教室ではなく、大学を開放し、マウンテンバイクのライディングを楽しむという活動である。活動は週末に限り、マウンテンバイク愛好家が近郊のみならず遠方からも訪れている。東京都にはマウンテンバイクのコースがないため、非常に人気が高い。法政クラブでは、法政クラブ・マウンテンバイク・パートナーズというサークルを設立し、この法政クラブ・マウンテンバイク・パートナーズがコースの整備や管理を行っている。ダンス教室とこのマウンテンバイクは自主運営団体として法政クラブが支援している自主サークルである。自主サークルではあるが、両サークルとも参加者はク

ラブ生となっている。

今後予定されている教室は、サッカーが2012年度から開講予定である。地域のニーズに答え順次増やしていく予定である。また、近隣の幼稚園や小学校、中学校などに指導者を派遣したり、講演の依頼を受けたりといった人材派遣業務にも着手し、活動の場を広げていく。

教室の参加人数は、2010年度を表 5 に、2011年度（11月現在）を表 6 に示した。2010年のダンススクールは延べ人数である。

表 5 2010法政クラブスポーツ教室 参加人数一覧

2011.5.30現在							
法政クラブ会員数	小学生		中学生		一般		合計
	男	女	男	女	男	女	
	67	69	14	20	22	50	
種 目	小学生		中学生		一 般		合 計
対 象	男	女	男	女	男	女	
テニス	13	21	3	0	12	19	68
バドミントン	7	19	0	6	5	13	50
陸上競技	44	28	11	14	5	9	111
フラメンコ	0	2	0	0	0	9	11
ニュースポーツ	7	1	0	0	0	0	8
※ダンススクール	444				1163		1607
合 計	71	71	14	20	22	50	248

※ダンススクールの参加人数は年間利用人数のため合計人数にカウントしない

表 6 2011法政クラブスポーツ教室 参加人数一覧

2011.11.30現在									
法政クラブ会員数	小学生		中学生		一般		合計		
	男	女	男	女	男	女			
	68	70	36	17	124	97			
種 目	対 象		小学生		中学生		一般		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
テニス(春)	9	4	2	0	7	3			25
テニス(秋)	3	0	5	0	4	2			14
バドミントン(春)	9	10	2	0	4	3			28
バドミントン(秋)	8	16	4	2	3	3			36
陸上競技	28	21	15	8	11	3			86
スイミングスクール	2	5	4	2	4	9			26
バスケットボール	5	9	4	2					20
※スポーツリーダー養成講座(春・秋)	0	0	0	0	0	0			0
マウンテンバイク	16	3	3	0	86	10			118
ダンススクール	クラシックバレエ(初級)	0	3	0	1	1	8		13
	クラシックバレエ(中級)	0	3	0	2	2	18		25
	ジャズダンス	0	0	0	0	1	15		16
	リフレッシュダンス	0	0	0	0	0	14		14
	太極拳	0	0	0	0	5	11		16
	ジャズヒップホップ	2	9	0	5	3	8		27
	ボクシング からだほぐし	0	0	0	0	0	12		12
合 計		82	83	39	22	131	119		476

※スポーツリーダー養成講座(春・秋)は開催に必要な人数の15名に達しなかった為、開催を中止した

Ⅷ. 法政クラブの課題と今後

法政クラブでは大学を拠点としているため、施設面、指導面では大きな問題として抱えていない。むしろ空き教室や施設の存在がまだあること、スポーツ健康学部など学生が指導者を目指し、法政クラブを活動の場、また教育の場として活用していること等、ハード、ソフト両面で充実しえいるといえる。しかし、宣伝活動をあまりしていないこともあり、参加者は微増にとどまっている。教室内容の充実はもちろん、宣伝広報活動を如何に行っていくかが課題である。また参加者が増えた場合、多摩キャンパスには駐車スペースが少ないことも問題としてあげられる。こちらもクリアしなければなら

らない。

大学という母体があるとはいえ、その経営は決して安泰ではない。将来的に自主運営できるくらいの財力を得ることが必要である。NPO法人であるため営利目的ではないが、赤字を抱えては運営を継続できない。多くの総合型地域スポーツクラブが財政面での問題を抱えている。法政クラブも将来的に財政面問題に直面する可能性がある。今後、教室やイベントへの参加者や賛助会員などを増やすことで収入を確保していかなければならない。

私は、将来的にこうしたスポーツクラブがオリンピックを目指すような一流の選手を抱えるようになればと考えている。近年、世界的な経済状況悪化の影響で先行きも不透明である。企業スポーツは衰退し、多くのスポーツ選手がその活動を十分に行えない環境となっている。スポーツクラブは誰もが楽しく参加でき、多様多世代で楽しむものだが、その中に日本を代表するような選手がおり、その選手をクラブ生で支援し、応援していくスタイルも良いのではないかと考えている。多様多世代に加え、目指すレベルも楽しみや健康志向から競技スポーツまで様々で、いろいろな目的の人がスポーツを通じて一つのコミュニティを形成していくことが理想である。

また、法政クラブでは、スポーツのみならず、文化的な活動にも着手したいと考えている。総合型地域スポーツクラブの進化した形を常に模索し、大学など教育機関を母体とした総合型のモデルケースとなれるよう探求していきたい。法政クラブが設立して2年目に入り多少軌道に乗ってきた。安定した経営にはまだいくらか時間がかかると思われるが、この多摩の地域に根差したスポーツ・文化の楽園を作りたいものである。

IX. 参考文献

- ・馬場 宏輝・丸山 富雄・仲野 隆士・永田 秀隆・中房 敏朗・栗木 一博・柳 久恒・石丸 出穂 (2008) 大学を核とした総合型地域スポーツクラブの創設・育成・運営の可能性について：仙南広域スポーツ研究会の活動報告から。仙台大学紀要 40(1), 111-123
- ・越部清美 (2004) 「YOAKOIソーラン祭り」とダンス・舞踊教育に関する一考察 (その1)。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要22. 59-61
- ・法政大学体育研究センター (1999) 1998年度 法政大学公開講座実施報告書。法政大学体育研究センター紀要17. 77-78
- ・法政大学体育研究センター (2000) 1999年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育研究センター紀要18. 103-102
- ・法政大学体育研究センター (2001) 2000年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育研究センター紀要19. 65
- ・法政大学体育研究センター (2002) 2001年度法政大学公開講座実施報告書。法政大学体育研究センター紀要20. 101
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2003) 2002年度法政大学公開講座実施報告書。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要21. 59-60
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2004) 2003年度法政大学公開講座実施報告書。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要22. 79-81
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2005) 2004年度法政大学公開講座実施報告 (多摩キャンパス開設20周年記念)。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要23. 43-44
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2006) 2005年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要24. 51-56
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2007) 2006年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要25. 77-82
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2008) 2007年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要26. 97-102
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2009) 2008年度法政大学公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要27. 113-116
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2010) 2009年度公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要28. 74-85
- ・法政大学体育・スポーツ研究センター (2011) 2010年度公開講座実施報告。法政大学体育・スポーツ研究センター紀要29. 51-58
- ・池田 孝博 (2010) 大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブの運営に関する諸問題。・福岡県立大学人間社会学部紀要 Vol. 19, No. 1, 1-8
- ・文部科学省 (2011) 平成23年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査。
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/club/1312371.htm
- ・渡辺直吉 (1988) 法政大学公開講座硬式テニス教室報告書。法政大学体育研究センター紀要6. 147-149

表 1 法政大学体育・スポーツ研究センターにおける公開講座、研修会

	期 日	講座名	参加人数	対象者	指導スタッフ(所属などは当時)	備 考
1984年 昭和59年	11月	ウェイトコントロール			城所亮(和歌山医大教授)	市ヶ谷地区
1985年 昭和60年	2月	「上下の筋肉持久作業」			センター所員	人間工学会関東支部 於：多摩地区
1987年 昭和62年	3月	スキースクール			センター所員他	於：長野県白馬
	7月	テニス教室			センター所員他	於：多摩地区
	10月	テニス教室			センター所員他	於：多摩地区
1988年 昭和63年	10月9日～11月27日 毎週金曜日 14:00-16:00	硬式テニス教室(全8回)	45名 (20歳～63歳)	町田市・城山地区住民 周辺住民	渡辺直吉(本学教授) 田村義男(本学教授) 富田公博(本学教授) 本学硬式テニス部部員	後援：町田市教育委員会
1990年 平成2年	10月	研修会「筋肉の働き」			室増男(東邦大教授)	於：多摩地区
1996年 平成8年	12月	研修会「救急法と蘇生法」			安藤信義(本学体育研究センター所長)	於：市ヶ谷地区
1998年 平成10年	7月4日(土) 14:00-16:30 7月11日(土) 14:00-16:30 11月28日(土) 14:00-16:30 12月5日(土) 14:00-16:30 12月12日(土) 14:00-16:30	第1回 生涯スポーツ体験学習 テニス教室50名 第2回 生涯スポーツ体験学習 テニス教室50名		近隣住民 本学学生 教職員 近隣住民 本学学生 教職員	加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表) 田村義男(本学教授 日本テニス協会公認指導員) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表) 田村義男(本学教授 日本テニス協会公認指導員) 笠山裕康(本学OB 元レシスンプロ) 本学体育会庭球部部員	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会
1999年 平成11年	1月23日(土) 18:30-20:30 ↓ 24日(日) 9:30-12:30	石岡スポーツ教室 98'	第1日目 45名 第2日目 40名	石岡市スポーツ指導者 石岡市テニス愛好家	田村義男(本学教授 本学体育研究センター所長) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表) 田村義男(本学教授 日本テニス協会公認指導員)	共催法政大学保健体育部 後援：石岡市教育委員会、石岡市テニス協会 協賛：大塚製薬、日勝スポーツ工業株式会社 講義「スポーツとケア」 於：法政大学石岡グラウンド・スポーツハウス 硬式テニス教室 於：法政大学石岡グラウンド・テニスコート
	7月3日(土) 14:00-16:30 7月10日(土) 14:00-16:30	生涯スポーツ体験学習 テニス教室	96名	近隣住民	神和住純(本学教授 現デビスカップ監督) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会
2000年 平成12年	3月19日(日) 10:30-12:30	講演会「母親の為のスポーツに学ぶ知識」 「親子で頑張る体力づくり」教室		近隣住民	渡部近志(本学教授 NHK陸上競技解説者) 鈴木良則(本学非常勤講師)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 於：法政大学総合体育館
	7月9日(日)、15日(日) 14:00-16:30	生涯スポーツ体験学習 テニス教室	100名(延べ)	近隣市町住民	神和住純(本学教授 現デビスカップ監督) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 協力：本学体育会庭球部部員
2001年 平成13年	7月7日(土)、14日(土) 14:00-16:30	生涯スポーツ体験学習 テニス教室	86名(延べ)	近隣市町住民	神和住純(本学教授 現デビスカップ監督) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 協力：本学体育会庭球部部員
2002年 平成14年	7月7日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00 7月13日(土) 13:00-17:00	第1回 テニス教室 第2回 陸上競技教室	50名 59名	近隣市町住民 近隣市町住民・中高生	神和住純(本学教授 現デビスカップ監督) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表) 刈谷春郎(本学教授 本学体育会陸上競技部部長) 刈部俊二(本学専任講師) 成田彦彦(本学兼任講師 本学体育会陸上競技部監督) 川畑伸吾(本学OB シドニーオリンピック日本代表) 島本隆二(本学OB エドモントン世界陸上日本代表)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 協力：本学体育会庭球部部員 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会陸上競技部部員
	10月5日(土) 13:00-16:00	第3回 バドミントン教室	53名	近隣市町住民	児島昇(本学兼任講師) 町田文彦(本学OB 本学体育会バドミントン部コーチ)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員
	12月7日(土)	第4回 少年サッカー教室	201名 小学4年～6年生	近隣市町住民 小学4年～6年生	前田秀樹(本学兼任講師 日本サッカー協会公認指導者s級・日本リリー通算209出場)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会サッカー部部員
2003年 平成15年	7月6日(土) 10:00-12:00 13:00-16:00 7月19日(土) 13:00-16:00 10月4日(土) 13:00-16:00 12月6日(土) 13:00-15:30	第1回 テニス教室 第2回 バレーボール教室 第3回 バドミントン教室 第4回 少年サッカー教室	43名 28名 37名 189名	近隣市町住民 大学生以上 地域住民 大学生以上 地域住民 大学生以上 地域住民 小学4年～6年生	神和住純(本学教授 現デビスカップ監督) 加藤幸夫(本学非常勤講師 元デビスカップ日本代表) 吉田康伸(本学専任講師) 大竹秀之(本学OB) 児島昇(本学兼任講師) 町田文彦(本学OB 本学体育会バドミントン部コーチ) 川勝良一(本学兼任講師 本学OB)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会テニス部部員8名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バレーボール部部員4名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員4名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会サッカー部部員3名
2004年 平成16年	7月4日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00 10月2日(土) 13:00-16:00 11月28日(日) 13:00-16:00 12月11日(土) 13:00-15:30	第1回 テニス教室 第2回 バドミントン教室 第3回 少年野球教室 第4回 少年サッカー教室	33名 33名 217名 148名	周辺住民 周辺住民 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周辺のサッカーチーム 小学4～6年生	神和住純(本学教授) 田村義男(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師) 児島昇(本学兼任講師) 須賀隆弘(本学OB) 金光興二(本学体育会野球部監督) 田中英樹(本学体育会野球部副監督) 川勝良一(本学兼任講師 本学OB)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員7名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会野球部部員18名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会サッカー部部員7名
2005年 平成17年	7月10日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00 10月29日(土) 13:00-16:00 11月20日(日) 13:00-16:00 12月10日(土) 13:00-16:00	第1回 テニス教室 第2回 バドミントン教室 第3回 少年野球教室 第4回 少年サッカー教室	68名 47名 241名 (27チーム) 208名	周辺住民 周辺住民 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周辺のサッカーチーム 小学4～6年生	神和住純(本学教授) 田村義男(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師) 児島昇(本学兼任講師) 町田文彦(本学OB NTT東日本) 金光興二(本学体育会野球部監督) 田中英樹(本学体育会野球部副監督) 川勝良一(本学兼任講師 本学OB)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会テニス部部員8名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員6名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会野球部部員20名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会サッカー部部員12名
2006年 平成18年	7月9日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00 10月21日(土) 13:00-16:00 11月26日(日) 13:00-16:00 12月9日(土) 13:00-16:00	第1回 テニス教室 第2回 バドミントン教室 第3回 少年野球教室 第4回 少年サッカー教室	57名 35名 親子15組 304名 (32チーム) 166名	周辺住民 周辺住民 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周年のサッカーチーム 小学4～6年生	神和住純(本学教授) 田村義男(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師) 児島昇(本学兼任講師) 草島正治(本学兼任講師) 町田文彦(本学OB NTT東日本) 金光興二(本学体育会野球部監督) 大石和孝(ジュビロ磐田スタッフ)	後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会テニス部部員8名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員10名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会野球部部員23名 後援：町田市・八王子市・城山町・相模原市 教育委員会 補助員：本学体育会サッカー部部員12名
2007年 平成19年	7月8日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00 10月27日(土) 13:00-16:00 11月25日(日) 13:00-16:00 12月8日(土) 13:00-16:00	第1回 テニス教室 第2回 バドミントン教室 第3回 少年野球教室 第4回 少年サッカー教室	85名 32名 親子10組 273名 (20チーム) 73名 (5チーム)	周辺住民 周辺住民 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周辺の少年野球チーム 小学4～6年生 周辺のサッカーチーム 小学4～6年生	神和住純(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師) 児島昇(本学兼任講師) 草島正治(本学兼任講師) 須賀隆弘(本学OB NTT東日本) 金光興二(本学体育会野球部監督) 川勝良一(本学兼任講師 本学OB)	後援：町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員：本学体育会テニス部部員10名 後援：町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員6名 後援：町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員：本学体育会野球部部員23名

表1 法政大学体育・スポーツ研究センターにおける公開講座、研修会（つづき）

	期 日	講座名	参加人数	対象者	指導スタッフ(所属などは当時)	備考
2008年 平成20年	7月6日(日) 10:00-12:00 13:00-16:00	第1回 テニス教室	83名	周辺住民	神和住純(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学体育会テニス部部員10名
	10月5日(日) 10:00-12:00 13:00-15:00	第2回 親子テニス教室	午前35名(大人16名・子ども19名) 午後27名(大人19名・子ども18名)	周辺住民	神和住純(本学教授) 植村直己(本学兼任講師) 加藤幸夫(本学兼任講師)	共催: 八王子子ども体験塾事業 後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学体育会テニス部部員6名
	10月18日(土) 13:00-16:00	第3回 バドミントン教室	31名	周辺住民	児嶋昇(本学兼任講師) 須賀隆弘(本学OB NTT東日本)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会
	11月23日(日) 13:00-16:00	第4回 少年野球教室	215名 (17チーム)	周辺の少年野球チーム 小学4～6年生	金光興二(本学体育会野球部監督)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会
	12月8日(土) 10:00-12:00 13:00-16:00	第5回 サッカー教室	午前148名(大人73名・子ども75名) 午後162名(13チーム)	午前: 周辺の小学生とその親 午後: 周辺のサッカーチーム(小学4～6年生)	清雲栄純(本学教授) 川勝良一(本学兼任講師 本学OB) 水沼貴史(本学OB コーチ)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学体育会サッカー部部員11名
2009年 平成21年	4月11日～6月13日 ジュニア: 9:30-10:50 一般: 11:00-12:20	町田市連携スポーツ教室 テニス教室 全9回	ジュニアの部小中学生85名 一般の部43名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	加藤幸夫(本学兼任講師) 植村直己(本学テニス部監督)	共催: 町田市教育委員会・町田市文化スポーツ振興部 補助員: 本学体育会テニス部部員9名
	4月12日(日)～2月28日(日) 13:30-15:30	陸上競技教室(アスリート倶楽部) 月2回の全22回	ジュニアの部66名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	苅部俊二(本学准教授) 成田道彦(本学陸上競技部駅伝監督)	共催: 町田市文化スポーツ振興部
	5月9日(土)～6月27日 ジュニア: 9:30-10:50 一般: 11:00-12:20	町田市連携スポーツ教室 バドミントン教室 全8回	40名(一般16名、ジュニア24名)	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	須賀隆弘(本学OB NTT東日本)	共催: 町田市教育委員会・町田市文化スポーツ振興部 補助員: 本学体育会バドミントン部部員
	6月27日(土)～7月25日 11:00-12:00	身体コミュニケーション 全5回	11名(一般2名、ジュニア9名)	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	越部清美(本学社会学部准教授)	共催: 町田市教育委員会・町田市文化スポーツ振興部 於: 本学体育館空手場
	7月5日(日) 10:00-16:00	テニス教室	68名	町田、八王子、相模原市民	神和住純(スポーツ健康学部教授) 加藤幸夫(本学兼任講師) 植村直己(本学テニス部監督)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学体育会テニス部部員6名
	10月4日(日) 10:00-12:00(低学年) 13:00-15:00(高学年)	八王子市子ども体験塾スポーツ教室 「親子テニス教室」	低学年の部15組31名 高学年の部21組43名	地域の小学生と保護者	神和住純(スポーツ健康学部教授) 加藤幸夫(本学兼任講師) 植村直己(本学テニス部監督)	八王子市子育て助成事業 補助員: 体育会テニス部員6名
	10月24日(土) 13:00-16:00	バドミントン教室	45名 (小学生～60代)	町田、八王子、相模原の地域の方々	児嶋昇(本学兼任講師 本学体育会バドミントン部監督)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会
	11月8日(日) 13:30-15:30	八王子市子ども体験塾 「親子運動会」	72名	地域・アスリート倶楽部受講生の小学1年生から中学生と保護者	成田道彦(本学兼任講師 本学陸上競技部駅伝監督) 本学陸上競技部OB4名	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学陸上競技部部員10名
	11月29日(日) 10:00-16:00	少年野球教室	251名(19チーム)	町田・八王子市内の小学生(4～6年生)	金光興二(本学体育会野球部監督 理工学部教授)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学野球部員 二神一人(人間環境)
	12月12日(土) 10:00-12:00(親子の部) 13:00-15:00(チーム)	八王子市子ども体験塾 「サッカー教室」	親子の部 37組78名 チームの部 11チーム158名	午前の部: 八王子市内の小学生とその保護者 午後の部: 八王子市内のサッカーチーム	清雲栄純(本学スポーツ健康学部教) 川勝良一(本学兼任講師) 水沼貴史(本学兼任講師)	後援: 町田市・八王子市・相模原市教育委員会 補助員: 本学体育会サッカー部員11名 於: 城山サッカー場
2010年 平成22年	4月10日～5月29日 ジュニア: 9:30-10:50 一般: 11:00-12:20	町田市連携スポーツ教室 テニス教室 全8回	ジュニアの部37名 一般の部31名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	加藤幸夫(本学兼任講師) 植村直己(本学テニス部監督)	共催: NPO法人法政クラブ 連携: 町田市教育委員会 補助員: 体育会テニス部員
	4月12日(日)～2月27日(日) 13:30-15:30	陸上競技教室(アスリート倶楽部) 月2回の全22回	一般11名 ジュニアの部100名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	苅部俊二(本学准教授) 成田道彦(本学兼任講師 本学陸上競技部駅伝監督)	共催: NPO法人法政クラブ 連携: 町田市教育委員会
	5月8日～6月26日 ジュニア: 9:30-10:50 一般: 11:00-12:20	町田市連携スポーツ教室 バドミントン教室 全8回	50名(一般18名、ジュニア32名)	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣(八王子・相模原)住	須賀隆弘(本学OB NTT東日本)	共催: NPO法人法政クラブ 連携: 町田市教育委員会 補助員: 本学体育会バドミントン部部員
	11月21日(日) 10:00-16:00	少年野球教室	159名(22チーム)	町田市の少年野球チームの小学5～6年生	金光興二(本学体育会野球部監督 理工学部教授)	監修: 五明公男(本学教授) 補助員: 本学野球部員31名

表 4 法政クラブのイベント・教室

	期 日	イベント・教室名	参加人数	対象者	指導スタッフ	備 考
2010年 平成22年	4月16・23・30日 5月7・14・21・28日 6月4日 ジュニア：9:30～10:50 一般：11:00～12:20	町田市連携スポーツ教室 テニス教室 全8回	ジュニアの部37名 一般の部31名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣（八王子・相模原）住民	加藤幸夫（本学兼任講師） 植村直己（本学テニス部監督）	共催：法政大学体育・スポーツ研究センター 連携：町田市教育委員会 補助員：体育会テニス部員
	4月121日（日）～2月27日（日） 13:30～15:30	陸上競技教室（アスリート倶楽部） 月2回 全22回	一般11名 ジュニアの部100名	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣（八王子・相模原）住民	苅部俊二（本学准教授） 成田道彦（本学兼任講師 本学陸上競技部駅伝監督）	共催：NPO法人法政クラブ 連携：町田市教育委員会
	5月7・14・21・28日 6月4・11・18・25日 ジュニア：9:30～10:50 一般：11:00～12:20	町田市連携スポーツ教室 バドミントン教室 全8回	50名（一般18名、 ジュニア32名）	町田市に在住、勤務または多摩キャンパス近隣（八王子・相模原）住民	須賀隆弘（本学OB NTT東日本）	共催：NPO法人法政クラブ 連携：町田市教育委員会 補助員：本学体育会バドミントン部部員
	①・・・日曜日（初級）体育館3F空手場 11:10～12:40 ①・・・木曜日（中級）エッグドーム3F多目的練習室 18:45～20:15 ②・・・月曜日 エッグドーム3F多目的練習室 11:10～12:40 ③・・・月曜日 体育館3F空手場 18:30～20:00 ④・・・火曜日 体育館3F空手場 9:30～12:00 ⑤・・・火曜日 エッグドーム3F多目的練習室 19:15～20:45 ⑥・・・月2回土曜日 エッグドーム3F多目的練習室	ダンススクール（自主サークル） ①クラシックバレエ（初・中級） ②ジャズダンス ③リフレッシュダンス ④太極拳 ⑤ジャズヒップホップ ⑥ボディワーク・からだほぐし			①浅野 正・・・NBAバレエ団教師・振付師 ②山田 順子・・・柳 昭子jazzdance city 振付・インストラクター ③大塚 真里子・・・社会体育指導員 ④沖本 直子・・・全日本太極拳協会総合コーチ ⑤RIKA・・・ダンスインストラクター ⑥越部 清美・・・法政大学社会学部准教授	共催：体育・スポーツ研究センター
	10月17日（日）	2010法政クラブアウルカップ ニュースポーツ（ドッジビー大会）	約30名	大戸小5年生他近隣の小学生	高見京太（本学スポーツ健康学部）	
	12月11日（土） 午前の部（親子ペア）10:00～12:00 午後の部（少年少女チーム）13:00～16:30	2010法政クラブサッカー教室	午前：親子の部に小学生とその保護者13組28名 午後：チームの部八王子市内から7チーム84名	八王子市内在住および法政クラブ会員	東京ヴェルディ育成普及コーチ7名 東京ヴェルディ所属、法政OBの井上平選手、菊岡拓朗選手、吉田正樹選手	共催：体育・スポーツ研究センター 協力：東京ヴェルディ1969フットボールクラブ
2011年 平成23年	4月10・24日、5月1・29日、6月5・26日 7月3・17日、8月21・28日、9月18・25日 10月16・30日、11月13・27日、12月11・18日 1月15・29日、2月19・26日 13:30～15:30	陸上競技 アスリート倶楽部 ランニング教室 月2回 全22回	84名	アスリート倶楽部（小学4～6年生・中学生） ランニング教室（一般）	苅部 俊二 法政大学陸上競技部監督 日本陸上競技連盟短距離部長 成田 道彦 法政大学陸上競技部駅伝監督 陸上部OB 法政大学体育会陸上競技部OB 学生コーチ 法政大学体育会陸上競技部	共催：体育・スポーツ研究センター
	4月16日から 全8回	町田市連携スポーツ教室 テニス教室 春期コース	25名	ジュニア（小中学生）・ 一般 初心者コース ジュニア（小中学生）・ 一般 経験者コース	植村 直己 法政大学兼任講師 学生コーチ 法政大学体育会テニス部3名	共催：体育・スポーツ研究センター 後援：町田市教育委員会、八王子市教育委員会、相模原教育委員会
	5月から毎週土日開放	マウンテンバイク（自主サークル）				法政クラブ・マウンテンバイク・バートナーズ 於：法政MTBパーク
	5月7日から 全8回	町田市連携スポーツ教室 バドミントン教室 春期コース	28名	ジュニア（小中学生）・ 一般 初心者コース	須賀 隆弘 法政大学体育会バドミントン部監督 学生コーチ 法政大学体育会バドミントン部	共催：体育・スポーツ研究センター 後援：町田市教育委員会、八王子市教育委員会、相模原教育委員会
	①・・・日曜日（初級）体育館3F空手場 11:10～12:40 ①・・・木曜日（中級）エッグドーム2F多目的練習室 18:45～20:15 ②・・・月曜日 エッグドーム3F多目的練習室 11:10～12:40 ③・・・月曜日 体育館3F空手場 18:30～20:00 ④・・・火曜日 体育館3F空手場 9:30～12:00 ⑤・・・火曜日 エッグドーム3F多目的練習室 19:15～20:45 ⑥・・・月2回土曜日 エッグドーム3F多目的練習室 15:10～16:40	ダンススクール（自主サークル） ①クラシックバレエ（初・中級） ②ジャズダンス ③リフレッシュダンス ④太極拳 ⑤ジャズヒップホップ ⑥ボディワーク・からだほぐし		ジュニア（小中学生）・	①浅野 正・・・NBAバレエ団教師・振付師 ②山田 順子・・・柳 昭子jazzdance city所属 振付・インストラクター ③大塚 真里子・・・社会体育指導員 ④沖本 直子・・・全日本太極拳協会総合コーチ ⑤RIKA・・・ダンスインストラクター ⑥越部 清美・・・法政大学社会学部准教授	共催：体育・スポーツ研究センター
	5月25日、6月19日、7月24日、9月25日、10月16日、11月20日、12月11日 10:00～11:00	スイミングスクール	25名	ジュニア（小中学生）・ 一般	八塚 明憲 法政大学体育会水泳部監督 2008年北京オリンピック代表コーチ 学生コーチ 法政大学体育会水泳部	共催：体育・スポーツ研究センター
	7月9日（土） 9:30から	ニュースポーツ タグラグビー		小学生		会場：大戸小学校 校庭
	7月10日（日）9:30～12:30	テニス公開講座	45名	町田市・八王子市・相模原市の18歳以上の	神和住純先生（スポーツ健康学部教授） 植村直己先生（体育会テニス部監督） スポーツ健康学部学生7名	共催：体育・スポーツ研究センター 協力：本学体育会テニス部部員
	7月17日（日）	ウォーキング・エコノミー症候群のための 体験講座			寺廻太 スポーツビズ 元全日本代表監督 加藤隆一 スポーツビズ つくばユナイテッドSunGAIA	協力：フォレックスリーグ
	7月31日（日）	バレエボールクリニック 寺廻太・加藤隆一 東日本大震災復興 チーム向上講座&バレエクリニック				
	10月16日（日）	アウルカップ バasketボール大会		町田市・八王子市・相模原市に在学、在住の小学4年生～小学6年、中学生 法政クラブ会員		後援：町田市教育委員会・八王子市教育委員会・相模原教育委員会 協力：法政大学スポーツ健康学部学生
	10月1・8・15・22・29日、11月5・12・26日 土曜日 全8回 ジュニア 9:30～10:50 一般 11:00～12:20	町田市連携スポーツ教室 テニス教室 秋期コース		ジュニア（小中学生）・ 一般 初心者コース ジュニア（小中学生）・ 一般 経験者コース	植村 直己 法政大学兼任講師 学生コーチ 法政大学体育会テニス部	共催：体育・スポーツ研究センター 後援：町田市教育委員会、八王子市教育委員会、相模原教育委員会
	10月9日（日） 9:00～16:30	相原ふれあいフェスティバル2011		小学生	高橋誠（法政クラブ） スポーツ健康学部学生 法政クラブ アウレット	主催：相原地区連合町内会
	10月29日、11月5・12・19・26日、12月3・10・17日 土曜日 全8回 ジュニア 9:30～10:50 一般 11:00～12:20	町田市連携スポーツ教室 バドミントン教室 秋期コース		ジュニア（小中学生）・ 一般 初心者コース ジュニア（小中学生）・ 一般 経験者コース	須賀 隆弘 法政大学体育会バドミントン部監督 学生コーチ 法政大学体育会バドミントン部	共催：体育・スポーツ研究センター 後援：町田市教育委員会、八王子市教育委員会、相模原教育委員会
	11月5・26日、12月3・17日 2012年 1月14・21日、2月4・18日、3月3・17日	バスケット教室		小学生・中学生	島本 和彦（月刊バスケットボール創刊編集者 NBA解説員 NHK-BS放送）	共催：体育・スポーツ研究センター 協力：学生 スポーツ健康学部生 数名
	11月26日（土） 10:00～15:00 12月10日（日） 午前の部（親子ペア）10:00～12:00 午後の部（少年少女チーム）13:00～16:30	スポーツフェスタ2011 かけっこ教室 2011法政クラブイベント教室 「サッカー教室」		八王子市内在住および法政クラブ会員	東京ヴェルディ育成普及コーチ7名 東京ヴェルディ所属選手	主催：はちまちSC 於：構原中学校 共催：体育・スポーツ研究センター 協力：東京ヴェルディ1969フットボールクラブ